

H25 年度 第4回一関市総合計画審議会資料

総合計画審議会の意見等への回答

審議会委員からの意見等

「次期総合計画」について

- (1) 市町村合併により、乳幼児の健診は各地域で行われなくなりました。効率を考えたの事なのかもしれませんが、保護者の負担は増えたのではないのでしょうか。
- (2) 合併特例債の期間延長があり、ハード面へ目が向くところですが、ソフト面の充実を図って、人に優しい「一関市」になってほしい。

意見・質問に対する回答

- (1) 乳幼児の集団検診については、受診対象となる乳幼児の減少、小児科医の不足などにより各地域単独での健診体制の構築が困難になってきたこと、また、乳児期は月齢で適切な時期に受診を行うことが望まれることなどから、会場の集合化と併せ毎月の開催としています。
- これにより、集合化前は隔月で実施していた地域においても、月齢ごとの適切な時期に安心して受診をいただいているものと考えています。
- また、受診者のバラツキが解消され、会場に多くの受診者が集まることから、保護者同士の交流・気づきの場としての効果も期待しています。
- (2) 高齢化と人口減少社会への対応は大きな課題と考えており、子育て支援についても重要な施策の一つと考えています。
- 次期総合計画においては、協働によるまちづくりの精神のもと、市民の皆様の意見をいただきながら、ハード・ソフトの両面から、有効な施策を検討して参りたいと考えています。